

健康経営における重要指標

認識している課題

当協会では、適正な労働時間での勤務・休暇取得を促進することで、仕事とプライベートの調和や柔軟な働き方の実現に取り組んでいます。職員が皆同じ時間を過ごしてきた過去とは異なる働き方が当たり前になり、お互いを意識し、心身の健康に一層配慮しなければならない場面が認識されるようになりました。加えて、就労年齢長期化により、健康保持増進の重要性が高まっています。

こうした状況をふまえ、当協会では、健診機関に属する者として、職員自身が健康への関心を高め、生活習慣の変化への対応およびヘルスリテラシー向上を図ることが、職員の活力向上ひいては健康経営の実現につながると考え、以下の指標に注目し健康施策に取り組んでいます。

※数値目安

	2023年度実績	2024年度目標	備考
健康診断受診率	100%	100%	基本的な行動として
特定保健指導該当率	8.6%	10%未満	結果指標の1つとして
健康ミニ講座実施回数	10回	(内容集約) 6回以上	ヘルスリテラシー向上機会として